

子ども食堂とは

子ども食堂とは、無料または安価で栄養のある食事がとれる場所のこと。家族揃ってご飯を食べることが難しい子どもたちに対し、共食の機会などを提供している。

メリット

- ・ 孤独を感じている人を救うことができる
- ・ 子供同士、親同士でコミュニケーションを取ることができる
- ・ アットホームな雰囲気誰かと食事することができる
- ・ 子供が行事食に触れ合うことができる

目的

子ども食堂が社会へどのような影響を与えているのかを知る

→ 今後私達にできることを考える

仮説

子ども食堂のメリットを生かしてSDGsの項目の1,2,11の項目を解決し、ボランティア活動、募金などで活動を支援できると考える。



研究方法

- ① 情報収集をする
- ② 津山の子ども食堂「オレンジハート」にインタビューする
 - インタビューの視点
 - i 活動内容
 - ii 課題

文献

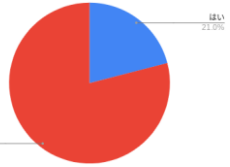
子ども食堂とは？目的やメリット、これからの課題、支援方法について解説

https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/children_cafeteria/

結果

津山市のひとり親世帯へのアンケート（津山市調査より）

約2割の人が経済的理由で衣料品が買えない



↓
子ども食堂

「オレンジハート」の活動

- ・ 食事提供
フードバンクで集めた食料品を使い子どもたちに無償で食事を提供する
その他にも。。。。。
- ・ フード&ライフドライブ
家庭などで余っている食品や日用品を集め支援を必要とする個人や団体に配布している
- ・ 学習支援
不登校の子供への学習支援



成果

SDGsの1,2,4,11の項目の解決に尽力し社会貢献しているとわかった。

「オレンジハート」の活動を知らない支援を必要としている人もいるという課題もあるのでは、と考えた。

今後私達にできること

ボランティア活動等を実行すること、考察で出た課題から、活動の発信をInstagram、日常の会話の中などで行き、活動を周知していくことが大切であると考えます。

この2つの事象から仮説は概ね正しい。この活動を続け課題をさらに解決すれば津山の貧困ゼロの未来も遠くないかもしれない。